

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名 一般国道362号 <small>あおべ</small> 青部バイパス		事業区分 一般国道	事業主体 静岡県	
起終点 自： <small>はいばらくん なかがわねちよう ふじかわ</small> 榛原郡 中川根町 藤川 至： <small>はいばらくん ほんかわねちよう あおべ</small> 榛原郡 本川根町 青部		延長 L=1.2 km		
事業概要 ： 一般国道362号は、 <small>あいちけんとよかわし</small> 愛知県豊川市を起点とし、 <small>しずおかけんしずおかし</small> 静岡県静岡市に至る延長約15.7kmの幹線道路である。このうち、 <small>はいばらくん なかがわねちよう ふじかわ</small> 榛原郡中川根町藤川から同郡 <small>ほんかわねちよう さきだいら</small> 本川根町崎平間は、普通車同士もすれ違いが出来ない箇所が点在し、観光シーズンを中心に渋滞を引き起こしている。青部バイパスは、狭隘区間を解消し、安全で円滑な交通確保を目的とした延長約1.2kmの2車線道路である。				
事業の目的、必要性 ： 当該区間の現道は、中山間地特有のカーブの連続する川沿いの道路であり、急峻な地形である等の理由から整備が遅れ、普通車同士がすれ違い出来ない箇所があり、観光シーズンを中心に渋滞を引き起こしている。また、この間に事前通行規制区間があり、防災上の観点からも早期の道路整備が必要となっている。青部バイパスは、一級河川大井川の対岸部を利用した、バイパス化を行うことにより、安全で円滑な交通確保を図るものである。				
全体事業費	38億円		計画交通量	6,500台/日
費用便益比	B / C	総費用	総便益	基準年
	3.1	32億円 事業費：31億円 維持管理費：1億円	99億円 走行時間短縮便益：84億円 走行費用減少便益：13億円 交通事故減少便益：2億円	平成15年
事業の効果等				
<ul style="list-style-type: none"> ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消） ・個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が期待される） ・安全で安心できるくらしの確保（二次医療施設へのアクセス向上が見込まれる） ・災害への備え（防災点検による通行規制等が解消される） 他7項目に該当（定量的評価項目を含む） 				
関係する地方公共団体等の意見				
本路線は、中山間地と都市部を結ぶ地域の発展には欠かすことの出来ない道路であり、「国道362号整備促進期成同盟会」による整備促進要望（平成15年8月）を事業主体である静岡県が受けている。				
事業概要図				